

## <各種注意事項>

### 【作成に関する注意事項】

- ・データファイルは WORD 形式（拡張子.doc 又は.docx）で作成すること。
- ・データファイル中に「期」・「座席番号」・「補習生カード番号」・「氏名」を記載しないこと。
- ・今回の様に文字数の指定がある場合、下記のようにチェックを行います。
  1. 提出されたデータファイルを基に文字数チェック（スペースを含めない）
  2. **指定の文字数に足りない課題は採点を行わず**、本人にその旨を通知のうえ返却します。なお、**本論でのテーマ表記や図表等は文字数に含みません**。
- ・「本論」・「出典・参考文献」の順番にセクション分け（word のページレイアウトにて設定可能）してください。
- ・**ページ番号は本論のみ**に付してください。
- ・章、節の区分、段落付けは明確にしてください。
- ・引用箇所は、「 」（引用符カッコ）でくくり、出典を明確（頁数も記載）にしてください。また、ウェブサイトからの引用の場合は、そのアドレス（URL）とアクセスした日を記載してください。
  - ① 論文の最後に掲載する参考文献の一覧は、日本語の文献（著者氏名の五十音順）、欧文の文献（ファミリーネームのアルファベット順）の順に記載する。
  - ② 日本語の場合は、単行本・雑誌名は『 』で、論文名は「 」でくくる。一方、欧文の場合は、単行本は書名を、論文の場合は雑誌名を、それぞれイタリック体で記載する。
  - ③ 文献は次の順序で表記する。なお、発行年が同じものが複数存在する場合、発行年に a、b…をつける。

単行本	著者（编者）名、発行年、『書物名』、発行所。
論文	著者名、発行年、「論文名」『収録書物名（または雑誌名）』巻数・号数、掲載頁。

（参考文献の記載例）※著者名、論文名、発行所等はすべて架空のものです。

#### 【単行本の場合】

- (1) 中村花子（1998）『アメリカ管理会計の理論』経営図書出版。
- (2) 山下仁義監訳、斎藤 隆・西崎真一共訳（2008）『監査人の責任としての透明性』東京会計書籍。

#### 【論文の場合】

- (1) 青木太郎（2009）「企業会計の利害調整機能—会社法との比較を中心に—」『会計ジャーナル』第 66 巻第 1 号、32-47 頁。
- (2) 加藤 登（2015a）「企業会計と自治体会計の相違」『経理実務』第 68 号、15-26 頁。
- (3) -----（2015b）「自治体監査の特徴」『自治体会計研究』第 25 巻第 3 号、35-38 頁。

#### 【欧文の場合】

- (1) Abcde, Fghij K. (19xx), *Lmn Opqrs-T Study in the Uvwxyz*, Zyx Smith.
- (2) Edcba, Jihgf T. , S.Rqpo Lmn, Zyxwvu A. Bcde (19xx), Auditors and the XXX of YYY, *The Journal of Zzzz* Vol. 23, No. 4, pp. 55-66.
- (3) Xyz Institute of Certified Public Accountants (XICPA), The XXX Committee on Financial Reporting (19xx), *Improving Business XXX Reporting: Information Needs of Vwxyz Investors*. Xyz Institute of Certified Public Accountants (※川本健夫・浜本海彦共訳（200x）『〇〇の改善報告』太陽書店)。

④ 引用・注記の表示は著者名、発表年と頁を（ ）で囲んで入れてください。

(引用する場合の記載例) ※著者名等はすべて架空のものです。

(1) 「 」(カッコ)で直接引用する場合

…であるが、「法 22 条 4 項は、企業会計を意味する」(長嶋 (2016)、199 頁) ことになる。

(2) 要約する場合

長嶋 (2016) によると、……という解釈になる (193-195 頁)。

(3) 脚注で引用や補足する場合

税法は、情報提供に重きをおく企業会計とは、ますます乖離するであろう<sup>(8)</sup>。

注 (8) 鈴木 (雅) (2015)、202 頁参照。

※鈴木雅彦と鈴木茂雄の 2 名を参考文献に挙げている場合は、(雅) か (茂) で区別する。

(2) 引用や注記をする場合には、必ず出典 (出所) を明らかにします。また、参考文献の記載漏れがないよう特に注意すること。

(3) 参考文献について記載のない場合においても、巻末に「参考文献なし」と記載すること。

(4) 参考文献を明記しない場合、論文の盗用とみなされる場合があるので注意すること。

(5) ウィキペディアや専門学校のテキストは参考文献として認めません。

- ・提出にあたっては、誤字等がないように十分確認してください。減点されます。
- ・形式不備があった場合は、評価点から減点されます
- ・人の論文を複製 (丸写しやコピーアンドペースト等) するなどの不正行為を行った者には、実務補習所運営委員会での検討後、相応のペナルティを科される事になります。

## 【提出に関する注意事項】

- ・データファイルは 1 つにまとめて提出してください。
- ※「本論、出典・参考文献」を複数ファイルで提出した場合は、**本論のみのデータファイルを採用し、「出典・参考文献の記載が無い。」という形式不備とみされます。**
- ・データファイルを複数回提出した場合は、**提出期限までに提出された最終のデータファイルを採用**します。
- ・各種メディアでの提出の場合、提出されたメディアは返却しません。採点后破棄します。
- ・提出するファイル名は「**提出回\_期\_座席番号**」としてください。

### <参考例>

補習生情報	提出課題研究	ファイル名
2016 年 8 番 東海 八郎	第 1 回課題研究	1_2016_08. doc (もしくは. docx) 全文字半角英数で!